

## 「平和を願う文化の集い」感想文集

### 心にしみたビナードさんの話し

アーサー・ビナードさんのお話は、心にしみるものがありました。  
サルビア合唱団の合唱では、涙がこぼれました。  
ことばの重み、歌声の力強さが、こんなに人の心を温かくし、豊かにしてくれるのですね。

指揮者の鈴木梢さん、客席から見ていてとても魅力的でした。  
途中からステージと客席がひとつになりました。このことでは、ロックソーランも同じく一体となり、より楽しめました。  
また、「君よ五月の風になれ」は難しそうな曲であったけれど、私たちに優しく、力強く伝わってまいりました。  
合唱の良さ、楽しさを存分に味わった思いです。  
最後に「ふるさと」を参加者全員で歌えて、楽しい時間をありがとうございました。

60代 女性

### ロックソーラン見たかった娘たち

今日はサルビア合唱団が出るので来てみました。  
盛り沢山の内容で楽しかったです。  
水速さん、佐下橋さん、地域にこんな素敵な方がいらっしゃって嬉しいです。  
昨日も、成瀬中「なすな祭」で、ロックソーランを見た中学三年生の娘たちが、「今日もロックソーランを見られるなら一緒に行く」といつてついて来てくれました。

30代 女性

### 地域の顔が見えた取り組み

とても楽しく、有意義な時間でした。  
ビナードさんのお話は、言葉の大切さを考えさせられました。  
地域の皆さんの顔の見える取り組みに、とても励まされました。

50代 女性

## いろいろな世代が集えるように

平和を考えるにあたって、様々な切り口からプログラムを考えておられて、良かったと思います。

今回のアーサー・ビナードさんのお話が、とても心に残りました。

著名な方を招いてお話をしていただくのは、企画側からはご苦労があると思いますが、九条について広く関心を持ってもらうためにも、今後も続けていただければと思いました。

「いろいろな世代が集える」場を地域に作り上げていくことは、これからも大切にしたいことですね。

30代 女性

## このエネルギーあれば

南地域の人たちの多彩さとエネルギーに驚きました。

このエネルギーがあれば、そしてもっと広げることができれば、改憲の企みをはね返すことができると確信しました。

ビナードさんの話しは良かったですね。日本語の語彙（ごい）の多さにも驚かされましたが、何より内容の豊かさ、奥深さに関心させられました。

かろうじて40代

## 見識深めて日本の将来見つめたい

太鼓の音は腹の底に響いて、改めて、人々が集う楽器として「素晴らしいな」と思いました。

他国の言語、文化への理解を深めたアーサーさんだからこそ、自分の国アメリカを見ることができるのではと思いました。

私も「日本人」にとらわれず、見識を深めて、日本の将来を見つめていきたいと思いました。

水彩画の紙芝居は雰囲気があって、すごい出来映えで驚きました。一人ひとりが多くの体験を持っているものですね。

40代 男性

## OKです

こういう企画OKです。アーサー・ビナードさんの話しは大変面白かったで

す。

1つ!!

「ふるさと」はあのサンケイグループ主催のらち連つどいでも歌っている右よりぷんぷんのにおいのする歌なので、う～ん、心から歌えなかったです。

「ふるさと」自体には何の罪もないけれどもね。

30代 女性

## たのしかったです

ロックソーラン、たのしかったです。

サルビア合唱団、たのしかったです。

アーサー・ビナードさん、かっこよかったです。

水速信孝さん、やさしかったです。

音楽グループの出演者、よかったです。

参加者全員たのしかったですよ。

「ふるさと」歌えてよかった。

10代 女の子

## 私も鶴川でがんばります

アーサー・ビナード氏のお話を聞きたくて、鶴川から来ました。

来て良かった。心から感動しました。心にとめたい言葉を沢山いただきました。

又、町田南地域九条の会のあり方も良いと思いました。

はじめにちょっと覗いた一周年の総会。一年の歩みをきちんとふり返って、皆さんで確認しておられてました。

文化の集いも盛り沢山で幅広く、豊かな内容で素晴らしいものでした。

私も、鶴川で頑張ります。

60代 女性

## 文化あふれる大集会

アーサー・ビナード氏の講演、もう大ヒットでしたね。紙芝居あり、フラダンスあり、サルビア合唱団の合唱ありと実に多彩。

まさに文化のあふれる大集会、成功あめでとうございます。

私たち「あいはら・小山九条の会」も頑張らねばと、本日は午前中に九条の

会を繰り上げ、駆けつけてきました。  
今後もよろしく。

あいはら・小山九条の会  
事務局長 杉崎愛史

## 芯があった企画

アーサー・ビナードさんのお話はすばらしい！  
日本の人がみんなビナードさんの言葉に耳を傾けてもらいたいと、痛切に感じました。  
今回の企画、芯があってすばらしいものでした。ありがとうございました。  
他のイベントも、心のこもった若い人達の発表で、頼もしく、楽しく過ごしました。

80代 女性

## 生きる力与えてくれた平和を願う文化の集い

サルビア合唱団の「青葉の歌」は、“やさしさを、やさしさを”と繰り返し、人間の持つ心の美しさを語りかけてきました。  
美空ひばりが被爆地広島で歌った「一本の鉛筆」も、合唱団によって平和を願う気持ちが伝わってきました。  
そして、若者たちによるロックソーランの躍動、「涙そうそう」をフラダンスで優雅に美しく舞った佐下橋さん、見ていて感動しました。  
「大阪大空襲と学童疎開の記憶」の紙芝居をスクリーンを通して見て、大阪にも大空襲があったのだなと知りました。  
東京の大空襲は知っていても、大阪のことは知らず、改めて平和の大切さを感じました。  
アーサー・ビナードさんのお話は、説得力がありました。  
広島型の千倍もの威力を持つビキニでの水爆実験、使うことが不可能なはずなのに巨額の国家資金を投入する、戦争がドロ沼化しても喜ぶ人たちがいる、結局死の商人が自分たちの利益を得るために戦争を起こすことが良く分かりました。

つくし野 實川好子

## 本当の愛国心とは

10月29日、第2回町田南地域9条の会総会と「平和を願う文化の集い」が開かれた。

講師のアーサー・ビナードさんは日本で活躍する有名な人だが、巨体のアメリカ人という予想に反して、日本人と変わらない体格で、非常に穏やかな人懐っこい方だった。

自著の書籍を持ってきて「サインもしますよ」と快諾すると、周りの人とすぐにこやかに話しておられた。非常に物怖じしないきさくな人柄でほっとする。

演壇での話し声がロビーまで聞こえてきたが、その穏やかな話ぶりは憲法をかたる語り口とは思えない。しかし、その内容は多岐にわたり、話が尽きない様子だった。

私は為政者が美辞麗句で本当の狙いを隠しているという事例を、日本の場合とアメリカの場合の例をあげて話しておられるあたりから少しずつ聞いた。

その中で、ひとつのことを承認したことで、取り返しのつかないことになってしまう。例えば「国防は必要だ」とか「テロからの防衛」ということを政策として認めてしまうと、戦争もテロもないかもしれないのに軍備のために予算がつき、そうすると軍需産業の利益追求のために軍拡は止まることがない。困るのは国民で、増税や兵役などを負わされる。

アメリカでも、軍隊には貧しい国民がかりだされている。日本には日本国憲法第9条があるので、軍事予算の負担から守られている。この日本国憲法を、「古い」という箱の中に入れ、「新しい憲法だ」という箱と取り替えれば、憲法は変わり、われわれ国民が危ない、暮らしや平和が危ない。

われわれ国民は、耳障りの良い美辞麗句の箱の中に、何が入っているのか知恵を働かせて見抜き、批判すべきことは批判するのが真の愛国心だ。

愛国心は多様だ。自分の国に対する愛は溺愛ではなく、批判的な愛国があって良い。

今取り上げられている愛国心は、狭い愛国が重視されている。ストーキーな愛国にならないらないために「多様な愛国が必要だ」など、印象深く心に残った。

ビナードさんは、ご自分とわれわれ国民をアメリカ南部黒人の昔話の中に出てくるザリガニにたとえて、弱者であっても知恵と連帯で困難な問題も乗り越えられる希望を、静かに熱く語り、私は感銘を受けた。

前半を聞き逃したことを残念に思う。

受付で 60代 女性